

赤れんが

道政かわら版

RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.30



明けましておめでとございます。令和八年の初春を、健康に迎えられ、心からおよろこび申し上げます。

一昨年十月の衆議院選挙で我が党は十勝の議席を失いました。年明けて昨年二月、中川郁子前支部長より、支部長に再任しない意思を木原誠二選対委員長に伝えた、と私に電話がありました。何度も意思の確認をし、二月二十三日の総務会で公募により新支部長を選任することを決め、故中川一郎先生の孫、故中川昭一先生の甥の中川紘一さんが選考され、六月十日に私が党本部に随行し、森山裕党幹事長、木原誠二選対委員長他の面談を受け、その場で支部長に選任されました。

直後に告示となった参院選では、我が党各陣営の遊説に中川新支部長が元気に先頭に立っている姿を見ていただき、十一月には篠原末治ホクレン会長を会長とする中川紘一十勝連合後援会を、梶原雅仁帯広商工会議所副会頭を会長とする帯広後援会をはじめ各町村の後援会を設立していただきました。ここから十勝平野に中川紘一が根付いてほしいと願うものであります。十勝のため国のため、皆で全力を尽くそうではありませんか。

昨年は令和の米騒動がありました。気候変動による干ばつと本道初の線状降水帯による水害が、十勝を中心とした道東に起きました。戦争も続いています。八月八日農水省事務次官が「米は足りている」は誤りだったと謝罪。麦や大豆などの生産を支える「畑作物の直接支払交付金」の交付単価の改定では、算出根拠となる統計と現場実態にズレがないか検証する方針を国は示しました。適切な施策立案に、大切な態度です。秋サケは不漁知らずのオホーツクを含め、前代未聞の大不漁。ふ化用の卵も絶対不足、コンブの高水温耐性株の育種など対策が必要です。温暖化対策は大切です。

宿泊税については四月一日実施に向け、二月末開会の第一定例道議会まで詰めの作業が残っています。課題も多いですが、今年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



鈴木知事防災訓練視察 広尾町音調津

TOPICS!

—線状降水帯—

9月21日未明、道東地方(釧路・十勝地方)で道内初となる線状降水帯が発生!九州北部から西日本にかけて発生した時は、私は、10年後くらいには津軽海峡を渡ってくるかなと漠然と思っていたら、翌年に北陸、昨年には東北、そしてこの度十勝を中心とする道東に直撃。温暖化による地球上の気象変動のスピードと大規模化は、恐るべし!政府は11月11日、8月5日から9月21日までに全国各地で発生した豪雨や防風雨の被害などについて激甚災害に指定することを閣議決定した。これにより広尾町、豊頃町、浦幌町の河川、道路、橋梁の道工事の実質負担率は1%、町工事の実質負担率は半分の0.5%、林道の実質負担率は2.4%など、地元財政負担が大幅に軽減。

TOPICS!

—憲政史上初の女性首相誕生—

自民党の高市早苗総裁が10月21日召集の臨時国会で第104代首相に選出。女性の首相就任である。衆参ともに過半数割れの第1党という中で、1999年に始まった野党時代を挟んで26年間続いた自公連立政権から公明党さんが政治とカネを巡り離脱、自民と日本維新の会による連立政権が発足しました。この26年、時に裾を踏み熟考を促すプレーキ役も果たしてきた公明党さんに、深く思いを致さなければなりませんね。内閣支持率 内閣誕生直後68%、1か月後69%と、歴代屈指の高さを維持、期待して新年を迎えたい。その後台湾有事に関する発言や、積極財政への懸念から株価の下落と円安の進行など、どのように影響があったか気になる所もありますが。

TOPICS!

—ノーベル賞日本から二名受賞—

10月6日、ノーベル生理学・医学賞を免疫の過剰な働きを抑える「制御性T細胞」を発見・特定した坂口志文(しもん)大阪大特任教授が受賞した。8日にはノーベル化学賞を、「金属有機構造体」といわれる、無数に開いた微小な穴に天然ガスの貯蔵やCO2などの大量の気体を出し入れできる様々な応用が期待される新材料を作成し、立証した北川進京都大特別教授が受賞した。1年に2人同時受賞、これで日本のノーベル賞受賞者は個人では30人目(昨 years 平和賞を受賞した団体と合わせると31例目)となった。ちなみにノーベル賞の国別ランキングは、米国、英国、ドイツ、フランスに次いで世界第5位です。教育も国力のパロメーターです。

—報告—

北海道地方路線問題調査特別委員会は、平成二十八年十一月にJR北海道が「当社単独では維持困難な線区」を公表したことを受け、道議会は平成二十九年十二月にJR北海道の事業範囲の見直しに起因する地方路線問題に特化した臨時的な特別委員会として設置しました。道内路線延長の半分以上に及ぶ区間について、JR北海道は単独では維持困難とし、沿線自治体が負担してくれなければ廃線、と言わんばかりの勢いでした。

設置後、JR北海道やJR貨物を参考人として招致、同様の経営環境下にあるJR四国各県の現地調査、地域が利用促進策に取り組んでいる他県の調査、JR東日本・JR貨物との連携の強化、国への実効ある支援要請などを行ってきました。結果、国は国鉄精算事業団債務等処理法等を改正し、JR北海道等への支援の期限を令和十一年度まで延長する措置を講じたほか、JR北海道に対し数千億円単位の支援が講じられたことは、本委員会立ち上げ時の本道の鉄道・物流は一体どうなるのだろうかとの不安感を想起し、感慨深いものがあります。それは道・議会・市長会・町村会・経済界・農業団体・農業者のオール北海道での取り組みと、国家戦略としての鉄道の重要性を踏まえ、たうえで対策を講じた公明党の赤羽一嘉国土交通大臣であったればこそ、山は動いたと思っております。

今後、黄線区においては、令和八年度末までの抜本的な改善方策の取りまとめをすることになっていきます。しかし、北海道新幹線の二〇三〇年度札幌開業が二〇三八年度末とも、それ以上ともいわれる大幅な遅れが濃厚となる中、札幌開業を機に経営自立を果たそうとするJR北海道の経営戦略の見直しは必至であることから、本特別委員会を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に戻すこととしました。例のない四期七年間(一期二年)の委員長職、多くの方々からご意見、励ましをいただきました。有難うございました。

写真・新聞で見る2025年



第41回オツパイ山祭り 上士幌町



十勝地区家畜市場視察 音更町



線状降水帯被害視察 広尾町音調津



線状降水帯被害視察 浦幌町



党本部畑対キャラバン鈴木参議他 中札内村



中川紘一支部長と挨拶回り 幕別町



七五三のご挨拶(中川先生宅)



仲人中川一郎先生ご夫妻(中川一郎先生の秘書時代)



篠原会長「30年後に首相の夢も」

中川氏連合 会長代行に梶原氏、山口氏、喜多氏

自民党道北支部長、の役員発表記者会見が18日、次期衆議院議員補選予定者の中、午前、帯広市内の同支部事務所で開催された。後援会長川紘一氏の十勝連合後援会

記者会見に臨んだ後援会役員。右から喜多氏、梶原氏、篠原氏、中川氏、明瀬氏、村田氏

にホクレンの篠原未治会長の就任を正式に発表された。会長代行には梶原雅仁(帯広工芸所副会長)、丸勝社社長、山口良一(十勝地区農協組合長)、JA豊頃(組合長)、喜多龍一(道議)が就任。幹事長は同支部選挙対策委員長で、芽室芳又社長の明瀬純氏(芽室青年部協議会JA選挙協会の村田辰徳氏(幕別)が務める。喜多氏は「1次産業や経済界、帯広、町村と十勝の総合力を結集できる布陣に」という思いでやってきた」と説明した。篠原氏は故中川一郎氏、故昭一氏、郁子氏の名を奉

げ、「農業は国の支援をもらってこそ成長してきた。十勝に政治の力を取り戻し、1次産業を中心に経済発展を進めよう」というために彼をサポートしていく」と強調。「中川氏は35歳、ハッパを着けて30年後には首相という夢もある」と述べた。中川氏は「十勝への危機感と私に対する期待感で大きな決断をいただき、ありがたい。いつ選挙になるかわからないが、地を足着け皆さんの声を聞く活動をしていきたい」と話した。市町村後援会はずっと複数の自治体で立ち上がり、おり、同支部政経セミナーが開かれる11月16日までをめどに全市町村での設立を目指す。(津田恭平、佐藤いづみ)

【札幌】道議会水産林務委員会が17日に開かれた。自民・道民会議の喜多龍一氏(十勝区)が、高海水温の影響などにより不漁が続くコンプの生産安定に向けて、道が今年度中に取りまとめる予定の対策案について質問した。喜多氏は、対策案に示された天然コンプから養殖コンプへの転換について、道南海域と一部の海域を除く太平洋沿岸の現場では地形的、コスト面から不向きとされている指摘。道は養殖が難しい地域では天然資源の維持回復に向けた対策が重要」との見解を示し、来年度から海洋環境を観測する体制構築や、発芽から幼体までの期間を陸上の水槽で飼育し、海中に投入する増殖手法の検証を行うと申し上



新年のご挨拶

喜多龍一 十勝連合後援会 会長 千葉 幹雄

後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様方には令和八年の新春を心から御慶び申し上げます。今年度は「飛躍の年」と言われており皆様にとって最良の年になりますようお願い申し上げます。一昨年、昨年と衆議院選挙、参議院選挙と行われ、いずれも自公政権が過半数割れとなり政府与党にとつて厳しい政権運営が予測されますが、昨年高市政権が誕生し幸いな事に高い支持率が維持されガソリン・軽油の暫定税率廃止など矢継ぎ早に国民の声を政策に反映させるべく大型の補正予算を組み合わせるべく居り今後に期待したいと思います。一方、十勝の政治状況でありまして、喜多道議にとって昨年は長い政治生活の中で一番多忙で心に残る一年になったと思えます。支部長選任の件で二月に公募開始、五月に中川紘一支部長決定、その後十一月迄十勝連合後援会役員人事併せて各市町村後援会の立ち上げなど重圧がかかる中、そばで見ていて体調を心配する程でした。今思うと、喜多道議としては、今日の第十一区支部の体制は出来なかつたと思えます。今更ながら喜多道議は十勝の中で要中の要であり、改めて、存在の大きさ、重さを感じている所です。来年は道議にとつて九期目の選挙の年です。北海道の為、十勝の為、喜多道議に対して旧に倍してのご支援下さいませようお願い申し上げます。結びに皆様方のご健勝と各後援会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。七五三のご挨拶とさせていただきます。

北に夢あり

LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)〈毎週火曜日発行〉 定価1部110円(税込み)
(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

喜多龍一のホームページも是非ご覧ください。
<http://www.kitaryu.com>

大澤日記

皆さんこんにちは、喜多龍一事務所に来て十一年目になりました大澤友記です。去年の日記で「もしかしたら来年の文章はAIが勝手に作ったりして?」と、戦々恐々しておりましたが、今年もなんとか無い頭を絞って日記を書いている今日この頃。日々AIの進歩が進んでこれからの社会の礎となっていくなか、私が子供のころ見ていた「戦隊シリーズ」がなんと今年五十年を目途に終了と言っ見出しを見て、時代の節目と言いますが、感じるものがあります。さてさて、去年もたくさん話題が目白押しで、二月上旬に十勝を襲った大雪や、全国各地のクマ被害などに頭を悩ませつつ、今年も大活躍のメジャーリーグの日本人選手達の話には勇気を貰いながら過ごした一年でしたが、話題の一つに、大阪・関西万博がございまして、大阪での開催は約五十五年ぶりになり、いろいろな意味や出来事で話題が尽きなかつた大阪万博も終わってみれば大盛況で幕を下ろし、私もかの有名なミケランジェロの作品が飾られていたイタリア館などは見に行きたかったのに行くことが出来なかつたので、別の万博を見に行くことにしました。それは、映画「大長編 タロマン」万博大爆発です。

なんだそれは?と首をかしげる人が多いと思いますが、「タロマン」とは太陽の塔でも有名な岡本太郎先生の作品がモチーフになっている特撮ドラマ、内容を一言でいえば「てたらめ」な作品です。非常に、非常に人を選ぶ特撮ドラマですが、そんな「タロマン」が映画化したことが去年一年の中で衝撃的な出来事でした。作品に登場する奇獣(怪物)も全て岡本太郎先生の作品に由来している一見の価値はあると思えますので、皆さんも機会がありましたら是非、ご覧になって下さい。……いろいろな意味で記憶に残る作品です。